

平成二十五年度 中学校入学試験問題（Ⅰ期） 国語 不二聖心女子学院

（解答はすべて解答用紙に記入すること）

受験番号

一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 春には何も気づかない。綺麗だなあと、ただ開花を喜ぶだけだ。桜のことを心配してしまうのは、かえって夏になつてからだ。

私が暮らす山形県鶴岡市にも、いくつか桜の名所がある。鶴岡公園、小真木原運動公園、赤川河川緑地公園、松ヶ岡開墾場——いずれの場所でも春には見事な花が咲く。鶴岡は時代小説の大家、藤沢周平さんの郷里でもあるので、その原作が映画化された『花のあと』では、スクリーンに映し出されたりもしている。さすがは「おらが桜景色」だと、やはり心癒されるのだが、いずれにせよ綺麗に咲いているときは、なにも心配しないのだ。

桜の名所は市民憩いの場所でもある。花見の季節が終わってから、なにかにつけ足を運ぶ。イベントが催されている、子供の蟬とりにつきあわされたり、あるいは単に暇にまかせて散歩したり。ふと気づかされるのは、そうしてブラブラしているときだ。

「木が痛んでいる」

けっこう太い枝まで途中から折れていたり、幹に虚穴ができて、なかが枯れて朽ちていたり、あるいは全体が大きく傾いて、木ごと倒れかけていたり。

ひどい、こんな杜撰な管理があるかと憤りたくなるのだが、そうもいかない。実際のところ、傷ついた木々は、鋸で正しく剪定されていたり、溶剤で穴が埋められていたり、添え木があてられていたり、大抵は手厚く手当てされているのだ。

鶴岡公園に植えられている一本など、上ではなく横に伸びて、地面すれすれを這うようなかつこうになっていた。はじめあった中央の幹が朽ち落ちて、残りの脇枝が幹化しながら大きくなった結果だろうが、これも泥にまみれないで済んでいるのは、角材を組み合わせた添え木で、しっかりと支えられているからなのだ。

さておき、注意して眺めてみると、いびつな形の木が多い。いずれの歪み方も、なにかズッシリと⑤ものに、⑥から押しつぶされた感じである。なんだろうと考えるまでもなく、それが夏のさかりであろうと、たちまち白いものがみえてくる。

「雪か」

いうまでもなく、東北は冬が厳しい。鶴岡もそうであるところの日本海側は、日本屈指の豪雪地帯なのだ。その雪は、

しかも「下から降る」とされる。「横殴りの吹雪」というが、ここでは風が走りすぎて、しまいにライジングしてしまうのだ。^{(注) 3}

雪が下から降るならば、露天の木々は腕のように四方に伸ばした枝をかざして、我が身を守ることができない。日本海側に比べると、太平洋側は雪が少ないが、こちらでも吹きつける風の強さは同じだ。いや、かえって冷たく、ときとして痛いくらいに感じられる。

こんな冬に襲われれば、東北の桜が痛むのは当然だ。^⑪ 受難の時期が一年のほぼ三分の一にもなることを考えれば、むしろ「^⑫」。ほとんど瀕死の状態まで追いこまれて、ようやく春を迎える頃には、まさに「^⑭」死に

「^⑮生」という感じなのかもしれない。

ところが、なのだ。その傷だらけの桜が平然として、それとひとに気づかせないくらいに、見事な花をつけるのだ。

「美しいより強い」

思えば、それが「^⑯」である。どんなに厳しく打たれたあとも、いや、打たれば打たれるほどに、その痛みを濃厚な春の色に昇華させる。甘えた日本人の感傷に訴えながら、ひらひらとはかなげに散るのでなく、ここぞと命の詩を歌い、豪壮華麗に舞い踊る。

美しいより強い——その花をいつかでなく、今年こそ。^⑰

(佐藤賢一「美しいより強い」より)

(注) 1 「虚穴」……中がからになっている穴。

2 「剪定」……花や実がよくつくようにしたり形を整えたりするために植木の一部を切り取ること。

3 「ライジング」……下から上に向かって上昇すること。

問一、——線①「春には何も気づかない」とあるが、なぜそのように言えるのか、くわしく説明しなさい。

問二、——線②「杜撰な」の意味として最も適当なものを次から選んで記号で答えなさい。

- ア なさけない
- イ 丁寧な
- ウ いいかげんな
- エ 自分勝手な
- オ きたならしい

問三、——線③「これ」は何を指しているか、六十字以上、七十字以内で説明しなさい。

問四、——線④「角材を組み合わせた添え木で、しっかり支えられている」とほぼ同じ意味の表現を文章中から十字以上、十五字以内でぬき出して答えなさい。

問五、^⑤・^⑥に適当な言葉を入れなさい。

問六、——線⑦「それ」は何を意味しているか、わかりやすく言いかえなさい。

問七、——線⑧「白いものがみえてくる」とはどういうことか、くわしく説明しなさい。

問八、——線⑨「日本屈指の」の意味を説明しなさい。

問九、——線⑩「我が身を守ることができない」とどうなるのか、その様子を最もよく説明している一文を文章中から六十字以上、七十字以内でぬき出し、最初と最後の五字を答えなさい。（句読点も一字と数える）

問十、——線⑪「受難の時期」について、「受難」とはこの場合どのようなことを指しているのか、具体的に説明しなさい。

問十一、「」⑫「」に適切な表現を入れなさい。

問十二、——線⑬「瀕死の状態」とほぼ同じ意味の表現を文章中から四字でぬき出して答えなさい。

問十三、⑭・⑮に適切な漢数字を入れなさい。

問十四、「」⑯「」に入る表現を文章中から四字でぬき出して答えなさい。

問十五、——線⑰「その花をいつかでなく、今年こそ」とあるが、「今年こそ」のあとに入る表現を十字以内でおぎないなさい。

問十六、あなたが「強さ」を感じた経験について、三百字以内で作文を書きなさい。（別紙原稿用紙に書くこと）

二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

昨年三月十一日に起きた東日本大地震のあとに咲いた、東北の桜を記録した写真集『それでも咲いていた千年桜』。

チヨシヤの大沼英樹さんは仙台市ザイジユウの写真家です。今まで十年近くにもわたり、全国の桜を撮り続けてきました。

「いつまで生きられるのかもわからないようなことを初めて経験し、写真家として何かを残したい、残さなければ、という強い思いに①①れました。でも震災の直後は、何をどう撮っていいのかわからなくなってしまった」と言います。そ

の後、大沼さんがホンカクテキに撮影を再開させたのは、震災から約一カ月後。例年通り、桜を撮影する旅に出たのです。

「今まで撮っていた桜なら撮れるかもしれない。そして、とにかく現状から目をそむけたい、とも。今思うと、桜に慰めてもらおうという気持ちもあったように思います」。中国地方からホクジヨウして辿り着いた、十七年前に阪神淡路大震

災があった場所は、そんな跡形はどこにもなく完全にフツコウしていたそうです。その後福島県に入り、地震によってお堀が崩れ落ちた白河小峰城址で無事に咲く桜を目にした時には、「私はここで必死に咲いていたのに、あなたは逃げたで

しょう、とせめられているように感じました。そこからです。最も激しく被災した東北エンガン部はどうなっているのだろう、撮らなきゃいけない、と思いました」。

掲載されている写真は、津波により壊滅的な被害を受けたといわれる、岩手県陸前高田市の桜。写真集の扉にもなった

一枚です。「傷だらけの幹に津波で流されてきた養殖牡蠣の筏が絡まり、海の匂いとともに異臭をバチ、その姿は、
《鬼》のようだった。そこには死があり、同時に生をも突きつけてきました」。何枚撮っても撮れた気がしなくて、結局
大沼さんは夜明けまでシャッターを切り続けたと言います。「この写真は僕が死んだあとに残るんだ、と思いました。今
まで撮ってきた桜も、僕が生きてきた時間も、すべてが繋がった一瞬だった気がします。俺は生きてるって、大声で叫ん
で走り回りたいくらいでした」。

大沼さんの実家はさくらんぼ農家。桜の木はあまりに身近で特別な被写体としてイジギ、したことはなかったと言います。
「桜を撮り始めたはつきりとした理由は今もわかりません。ただ、私が撮りたいのは桜そのものではなく、そこに人の気
配やいのちの息吹が感じられるような写真。桜ははかない、といわれますが、僕はむしろ昔から強いと思っていました。
一年間力を蓄えて、その時が来たらいつせいに咲く。まるで隣の花ドウシが声をかけ合うかのように。その瞬発力に
爆発的な強さがあると思うんです」。さくらんぼを手入れするご両親を間近で見ていた大沼さんにとって、桜は日常の
象徴であり、なにより雄弁な被写体だったのかも。

タイトルにもなっている、「千年桜」には大沼さんの願いが込められています。「津波の直撃にあった町は地獄のよう
な世界と⑤ていた。でも、それでも生き残った桜は花を咲かせていたんです。それは希望そのもので、これからどう
立ち直ったらいいのだろう、という思いに対する答えに思えました。人は想像します。桜を見て、必ず咲く、と信じるこ
とで前に進める。未来へのひとつの希望として、この大震災に生き残り、耐え抜いた桜の命を、せめて千年は語り継いで
ほしい。撮り続けている間、哀しみ、怖れ、怒り、いろんな感情が渦巻いた。でも、桜は強い、人間も強いんだ、と思っ
たんです」。

今年も、これから先も、そんな桜を撮り続けたいと、大沼さんは思っています。

（森亜紀子「震災を生き延びたイッポン」より）

問一、 ① ⑤ に入る言葉を選び、適当なかたちに変えて答えなさい。

「指す 駆る 切る 化す 成す 込める」

問二、 線②「逃げたでしょう」について、この場合「逃げる」とはどういうことか、文章中の言葉を用いて十
字以上、十五字以内で答えなさい。

問三、 線③「そこに」、④「むしろ」はそれぞれどこに係るか、記号で答えなさい。

③ そこに ア 人の イ 気配や ウ いのちの エ 息吹が オ 感じられるような カ 写真。
④ むしろ ア 昔から イ 強いと ウ 思っていました。

問四、 線A～Jのカタカナを漢字に直しなさい。